



2021年11月4日

次世代電気自動車 BMW iX 誕生

コンセプトやデザイン等、BMWの未来を凝縮した次世代自動車
航続可能距離は650km

僅か10分の急速充電で約100kmも航続可能距離を延長可能

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：クリスチャン・ヴィードマン）は、長距離走行が可能な革新的な次世代電気自動車BMW iX（アイエックス）を、全国のBMW正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。

BMW iXは、SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）をベースに、コンセプト、デザイン、パワートレイン等、その全てにおいて、BMWが次世代を見据えて開発したモデルであり、サステイナブル（持続可能性）であることを目的に、パワートレインには電気モーターを採用し、大型のリチウム・イオン・バッテリーの搭載により、1回の充電で長距離走行を可能とした電気自動車である。満充電にて、BMW iX xDrive40は450km、BMW iX xDrive50は650kmの走行が可能である。

さらに、BMW iXは、BMWグループが世に放つ新たな電気自動車のみに留まらず、次世代自動車であることを彷彿とさせるエクステリア・デザイン、インテリア・デザイン、さらには、最新の運転支援システム、最新の通信システムを備えている。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	希望小売価格
BMW iX xDrive40	¥ 9,810,000
BMW iX xDrive50	¥ 11,160,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用は含まれない価格です。
また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。
- 右ハンドル仕様

デザイン

大胆かつモダン、さらには、最小限をコンセプトに、フロント・デザインにおいては、BMWのデザインを特徴づけるキドニー・グリルを大型化し、キャラクターを強調しつつ、BMWラインアップの中で最もスリムなヘッドライトのデザインを採用することで、次世代のイメージを彷彿とさせている。リヤ・デザインにおいては、ヘッドライト同様に薄くシャープなリヤ・ライトを採用しデザインの一体感を表現しつつ、エアロダイナミクスを追求したディフューザーや、リヤ・トレッドをワイドにすることで、存在感を表している。

インテリアにおいても、次世代を彷彿とさせるデザイン・エレメントを多く取り入れている。BMW モデルとしては初めて、メーター・パネルとコントロール・ディスプレイを一体化させ、デザインを際立たせていると共に、形状を湾曲したカーブド・ディスプレイとすることで、操作性、視認性を高めている。多くのボタン類を廃止し、送風口をスリム化することで、運転席回りをすっきりとさせつつ、BMW 特有の iDrive コントローラーを他モデル同様に装備することで、抜群の操作性を誇っている。また、六角形のステアリング・ホイールを、BMW モデルとして初めて採用するなど、革新性も表現している。ヘッドレスト一体型のシートの採用、大人 5 名乗車でも、後席においてもゆったりとした室内空間を誇るなど、まるで上質なラウンジで過ごすようなリラックスした空間を提供している。さらには、ファースト・クラス・パッケージをオプション装備することで、電動シートの調整スイッチ、スタート/ストップ・ボタン、iDrive コントローラー等はクリスタル性となり、未来感溢れる演出も可能である。

充電および電池容量

BMW iX には、最新の充電テクノロジーが採用されており、対応する急速充電器では、最大 150 kW での充電が可能であり、自宅や公共の普通充電の設備では最大 11 kW での充電が可能である。150kW の急速充電利用時は、僅か 40 分以内で、約 80%までの充電が完了し、約 500km もの長距離走行が可能となる。僅か 10 分の急速充電では、約 100km もの航続可能距離を伸ばすことも可能である。普通充電においては、一晩（約 7 時間）で、0 から 100% の状態まで、充電することが可能となっている。

電気モーターおよび電池容量

BMW iX は、前輪を駆動する 1 つの電気モーターと後輪を駆動する 1 つの電気モーターを持つ、4 輪駆動モデルである。

BMW iX xDrive50 は、前輪を最高出力 190kW、最大トルク 365Nm を発揮する電気モーターと、後輪を最高出力 230kW、最大トルク 400Nm を発揮する電気モーターを持ち、システム・トータルでの最高出力は 385kW、最大トルクは 765Nm である。リチウム・イオン電池容量は 303Ah であり、一充電走行距離は 650km、交流電力量消費率は 190Wh/km である。

BMW iX xDrive40 は、前輪を最高出力 190kW、最大トルク 290Nm を発揮する電気モーターと、後輪を最高出力 200kW、最大トルク 340Nm を発揮する電気モーターを持ち、システム・トータルでの最高出力は 240kW、最大トルクは 630Nm である。リチウム・イオン電池容量は 232Ah であり、一充電走行距離は 450km、交流電力量消費率は 183Wh/km である。

4 輪アダプティブ・エア・サスペンション

BMW iX xDrive50 に標準装備の 4 輮アダプティブ・エア・サスペンションは、前輪、後輪共に、アダプティブ・エア・サスペンションを採用することで、走行状態に合わせ、常に最良の車両地上高を保ち、乗り心地、敏捷性、安定性と言った様々な側面にメリットをもたらしている。運転者による任意の切り替えも可能であり、

例えば、Sport モードへの切り替えで、ダンパーを固くし、車高を下げることで、スポーツ走行に適した特性とすることが可能であると共に、スイッチにより、高 (+20mm)、低 (-10mm) を、任意に設定することも可能である。

インテグレイティッド・アクティブ・ステアリング

前後輪統合制御ステアリング・システムである BMW iX xDrive50 に標準装備のインテグレイティッド・アクティブ・ステアリングは、走行状況に応じて、後輪を積極的に操舵させることで、街中での取り回しやスポーティ走行性能を高めると共に、旋回時の安定性が高まることにより、後席の乗り心地を向上させる事が可能である。街中での駐車や取り回し等、低速域においては、後輪を最大 3.2° 逆位相（前輪と逆方向）に操舵することで、車両の回頭性を高め、狭いスペースへの駐車や細い道での U ターン等が、スムーズとなる。逆に高速域においては、後輪を最大 2° 同位相（前輪と同方向）に操舵することで、ワインディングでは安定したターン・インを、高速ではスムーズなレーン・チェンジを実現する。

ヒート・コンフォート・パッケージ。

BMW iX は、新しいヒーティング・コンセプトとなるヒート・コンフォート・パッケージを標準装備している。従来のエア・コンディショナーによる温風や、シート（フロント・リヤ）およびステアリング・ヒーターに加え、センター・コンソール、フロント・ドア・パネル、リヤ・ドア・パネル、ダッシュボード下部の表面が加熱される表面加熱技術により、冬季の運転においても、車室内は暖かな正にラウンジのような心地良い空間とすることが可能である。

アイコニック・サウンド・エレクトリック

基本的に「無音」である電気自動車において、音による効果で「駆けぬける歓び」を体感可能とするのが、アイコニック・サウンド・エレクトリックである。オーディオ・スピーカーから、特別に作曲された音が発せられることで、次世代の走りを体感することが可能となる。アカデミー賞、ゴールデングローブ賞のノミニネート多数の実績を誇り、映画パイレーツ・オブ・カリビアンを担当する等、現在、最も著名なドイツ出身の映画音楽作曲家の一人であるハンス・ジマー（Hans Zimmer）により作曲されたサウンドは、MY MODES の設定において、Sport を選択するとサウンドを強調、Personal を選択すると音響の全体バランスを重視、Efficient を選択するとサウンド・オフとすることが可能となる。

安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」を標準装備

高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付）、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）、レーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム）、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクション、衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付）、前車接近警告機能、後車衝突警告機能、クロス・トラフィック・ウ

オーニング、および、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報をITネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして2013年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

BMW Intelligent Personal Assistant（インテリジェント・パーソナル・アシスタント）

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となるBMW最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバー好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMWのインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW（オーケー・ビー・エム・ダブリュー）」だけでなく、「4シリーズ」と、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

Amazon Alexa

Alexaは、Amazonが提供するクラウドベースの音声サービスあり、全世界で利用され、日本においても、日本語による音声サービスが提供されている。Alexaは、Amazon Echoシリーズなどのデバイスに搭載されており、Alexaに話しかけるだけで天気予報やニュースの確認、音楽ストリーミングの再生、Amazon.co.jpでのショッピング、対応するスマートホームデバイスの操作などが可能になる。BMW iXを、オーナーのスマートフォン上アプリ「My BMW」を使用して、Alexaと連携させることにより、自宅ながら、Alexaの様々なサービスや機能を利用することが可能となる。

3年間の主要メンテナンスが無償となるBMWサービス・インクルーシブ・プラス

BMW iXには、3年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMWサービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMWサービス・インクルーシブ・プラス」は、2016年よりBMW全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージで

あり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

- BMW iX xDrive40
全長 4,955mm、全幅 1,965mm、全高 1,695mm、ホイールベース 3,000mm、車両重量 2,380kg、車両総重量 2,655kg、システム・トータル最高出力 240kW、最大トルク 630Nm、交流電力消費量率 183Wh/km、一充電走行距離 450km。
- BMW iX xDrive50
全長 4,955mm、全幅 1,965mm、全高 1,695mm、ホイールベース 3,000mm、車両重量 2,530kg、車両総重量 2,805kg、システム・トータル最高出力 385kW、最大トルク 765Nm、交流電力消費量率 190Wh/km、一充電走行距離 650km。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インターラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>